



自分のことを伝える・相手のことを知る キャンペーンの季節です。

春は新しい出会いがあり、環境の変化に対応していく時期。子どもたちはみな、心地よい緊張感・ワクワク感を持って日々過ごしていることと思います。4月は、子どもにとっても大人にとっても、自分のことを伝える・相手のことを知るキャンペーンの季節です。

自分なりの感じ方、自分なりの方法などに意識を向け、自分のことを見つめ直してみましょう。そして、必要だと感じたら、自分のことを信頼できる周りの人に伝えていきましょう。自分のことを知ってもらうことと合わせて、新しい先生・新しい友達のことを知っていきましょう。

○ 通級指導教室で

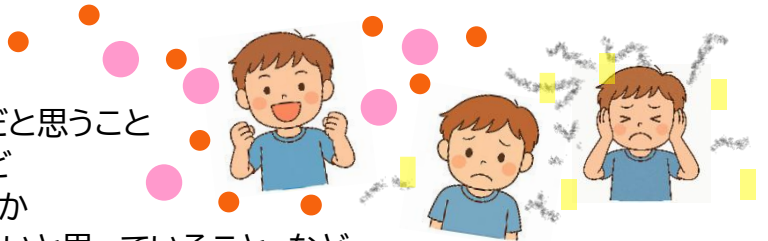
- ・ 自分の好きなこと、得意だなあと思っていること
- ・ 心配だなあ、どうしようと思っていること（一緒に考えましょう。）
- ・ 新しい学年になって、がんばろうと思っていること
- ・ 最近の自分のニュース など

その他にも、自分のことを紹介するカードゲームを使ってたくさん話しましょう。

○ 新しい担任の先生に

- ・ 自分の得意なこと、自分が活躍できそうだと思うこと
- ・ 自分の苦手なこと、苦手な音やにおいなど
- ・ 心がざわついて不安になるのはどんな時か
- ・ がんばりたい、もっとできるようになりたいと思っていること など

先生に自分のことを知ってもらっているということが、安心につながります。



おうちの方へお願い

「急な予定の変更が苦手なタイプだ。」「いつもではないけれど、音に敏感になりやすい。」「いつもと違うことが重なると、いつもできていることがスムーズにできなくなることがあり、また、体に不調が出やすい。」「言葉を省略しない具体的な説明が分かりやすい。」「はじめから完璧でなくても大丈夫という確認があれば、安心して取り掛かれる。」といったことを担任に伝えることも大切です。

特に、高学年の児童には野外活動・修学旅行が控えています。自分の知らない場所へ行くことは楽しみであると同時に不安もあることでしょう。「行ってみてのお楽しみ」がよいタイプの人かもしれないが、「ぶっつけ本番では楽しめない」タイプの人もあります。見学先のイメージは比較的持ちやすいかもしれませんが、宿泊する部屋・浴室の様子とその使い方・食事の内容（食堂の広さや様子、メニューなど）・バスの座席・トイレ休憩のタイミングに至るまで、前もって知っておくことが必要な場合もあります。また、公共の場で落ち着いて行動することについて具体的なイメージを持っておくことも大切でしょう。出かける前には不安に感じている様子が見られないため、周囲も当の本人も大丈夫だと思っていたところ、実際にその場に直面して困り感が膨らむということもあります。

一人一人に応じた支援内容については、個別の支援計画をもとに昨年度の担任の先生から引き継がれていますが、おうちの方からも、改めて新担任に伝えていただきますようお願いいたします。通級担当者も担任との連携を大切に、指導の充実に努めてまいります。

